

特別支援教育 教育心理学

▶▶▶▶ 地域子ども教育学科 講師 李受眞

1 - 発達障害・知的障害のある児童生徒のための自己理解アセスメントツールの開発

本研究では、本人に対する聞き取り調査と教師に対する質問紙調査を実施し、知的障害や発達障害のある児童生徒に対する自己理解支援のニーズや支援状況について検討しています。それに基づき、「知的障害・発達障害のある生徒のための自己理解支援アセスメント」を作成・開発し、進路指導教師や担任教諭が活用できる、具体的なアセスメントと支援方法について検証しております。

2 - 病弱教育における不登校児童生徒のための医療・教育・家庭の連携システム構築の実態調査

本研究では病弱特別支援学校と医療機関、本人、保護者が連携できるシステム構築と円滑なコミュニケーションのための具体的な方策を検討しております。特に教育機会確保法(2017)により、不登校児童生徒が行う多様な学習活動の実情を踏まえ、個々の状況に応じた必要な支援を行うことが求められている中で、病弱教育における学びの保障の視点から支援のあり方について明らかにします。また、児童生徒自身が治療方針と教育の決定に関わることで自己決定権を取り戻し、医療関係者・教員・保護者と連携することにより児童生徒の現時点における状態を正しく把握し、適切な指導・教育的支援につなげていくためのシステムモデルの構築を目指して調査を進めております。

3 - 発達相談

東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンターにて電話発達相談、保育所の巡回相談等の発達相談、教育相談、コンサルテーション、知能検査、発達検査の実施及び報告書の作成の経験から幼児児童の発達についての相談を行います。

